
基礎老化学会サーキュラー 第 124 号

日本基礎老化学会 Japan Society for Biomedical Gerontology

2025年3月14日 発行



3月に入っても雪が降ったり、みぞれが散らついたり、いつまでも寒いなあと思っていたら、東京ではもう来週には桜が咲きはじめるのだそうです。










さて、今回のサーキュラーは、理事選挙の行われた2024年度末の報告です。新理事、新評議員、新名誉会員が内定しましたのでご確認下さい。また、2025年6月開催の第48回日本基礎老化学会大会の参加申込が始まっています。老年学会総会との7学会合同会ですので、みなさん奮ってご参加いただきたいと思います。

来年度から新役員の体制になります。三浦が担当するサーキュラーも今号が最終号です。会員の皆様のご協力に感謝するとともに、これからも引き続き日本基礎老化学会にご支援をお願いいたします。







庶務理事 三浦 ゆり

【目次】

1. Topics

- ① 第44回 日本基礎老化学会シンポジウムが開催されました 
- ② 第48回 日本基礎老化学会大会演題申込と参加申込が開始されました 
- ③ 2025・2026年度の新理事・新理事長が内定しました 
- ④ 新名誉会員が内定しました 
- ⑤ 新評議員が内定しました 
- ⑥ “長寿科学賞”表彰候補者が内定しました 
- ⑦ IAGG-AORからのお知らせ 
- ⑧ “基礎老化研究”の完全PDF化アンケートの集計結果について 
- ⑨ 異動・卒業など新年度からの登録内容の変更は“会員マイページ”へ 

2. 議事録

- ① 2024年度 第1回 臨時理事会 議事録 
 - ② 2024年度 第2回 定例理事会 議事録 
3. 事務局からのお知らせ 
 4. 日本基礎老化学会関連行事 今後の開催予定 
 5. 会員動向 
 6. 賛助会員一覧 

3. Topics

① 第 44 回 日本基礎老化学会シンポジウムが開催されました

第 44 回日本基礎老化学会シンポジウム（千葉 卓哉 世話人・早稲田大学）が、早稲田大学人間科学学術院生命科学系シンポジウムとの合同開催として、2024 年 11 月 24 日（日）早稲田大学国際会議場で開催されました。「健康長寿の実現に向けた新潮流：エコシステムによる研究基盤の活性化」をテーマに産・学のシンポジストが講演され、シンポジウムには 120 名が、学術交流会には 50 名が参加して、活発な討論が交わされました。

② 第 48 回 日本基礎老化学会大会演題申込と参加申込が開始されました

2025 年 1 月 10 日より、第 48 回日本基礎老化学会大会（幕張メッセ）の演題申込と参加申込が開始されました（堀田 晴美 大会長・東京都健康長寿医療センター研究所）。演題申込は 2 月 28 日（金）で締切られ、50 演題以上の一般講演の応募がありました。事前参加申込は 6 月 20 日までです。皆様奮ってのご参加をお待ちしています。

詳細はホームページからご確認ください。

<https://www.jsbmg.jp/2025/index.html>

③ 2023・2024 年度の新理事・新理事長が内定しました

今年度は理事改選の年です。選挙管理委員会（安田 佳代 委員長・東海大学）のご尽力により、学会バンクの選挙サイトを利用して理事選挙が行われました。26 名の理事候補から、以下の 8 名の新理事が選ばれました（投票期間：2024 年 12 月 16 日-25 日）。さらに、新理事の互選により、新理事長が選ばれました。

新理事長：杉本 昌隆

新 理 事：石井 恭正、内田 さえ、柿澤 昌、清水 孝彦、樋上 賀一、福井 浩二、堀田 晴美（敬称略・五十音順）

④ 新名誉会員が内定しました

来年度から以下の先生が名誉会員に推戴されることが内定しました。

丸山 光生 博士（国立長寿医療研究センター）

⑤ 新評議員が内定しました

来年度から以下の 7 名の会員が評議員に就任されることが内定しました。

[目次に戻る](#)

また、今年度で内海 文彰先生、大澤 郁朗先生、豊田 雅士先生、籾野 健太郎先生、山下 均先生が評議員を退任されることになりました。長い間、様々なかたちで学会にご貢献いただき、ありがとうございました。

新評議員：井上 聡（東京都健康長寿医療センター研究所）

小野 悠介（熊本大学）

川岸 裕幸（国立医薬品食品衛生研究所）

澁谷 修一（山陽小野田市立山口東京理科大学）

多田 敬典（至学館大学）

中川 崇（富山大学）

細山 徹（国立長寿医療研究センター）（敬称略・五十音順）

⑥ “長寿科学賞”表彰候補者が内定しました

公益財団法人長寿科学振興財団は、我が国の長寿科学研究に携わる若手研究者の研究活動を幅広く支援することにより若手研究者の育成と長寿科学の振興を図ることを目的として、来年度から「長寿科学賞」の表彰を行うこととしました。

日本老年学会の各部会から1名ずつが長寿科学賞の表彰を受けます。

日本基礎老化学会においても長寿科学賞の表彰候補者を推薦するため、候補者の募集を行いました（2024年11月30日締切）。若手研究者7名の応募があり、理事による厳正な審査の結果、1名の長寿科学賞表彰候補者が内定しました。

小林 正樹 博士（お茶の水女子大学）

「カロリー制限による白色脂肪組織の質的変化とその分子基盤の解明」

第34回日本老年学会総会（2025年6月27日開催）において第1回長寿科学賞授賞式が開催される予定です。

⑦ IAGG-AOR からのお知らせ

IAGG-AOR newsletter (Feb/Mar 2025) をお届けします。

是非、ご一読下さい。

[News Letter はここをクリック](#)

⑧ “基礎老化研究”の完全 PDF 化アンケートの集計結果について

“基礎老化研究”編集委員会では、学会誌の完全電子媒体化（PDF のみでの提供とし、印刷物の郵送を廃止する）に対する学会員の意向を調べるため、下のようなアンケートを行いました（2024年8月3日から31日）。

学会誌の完全 PDF 化について

1. 賛成（紙媒体は不要）

[目次に戻る](#)

2. 条件付きで賛成（希望者だけに紙媒体の学会誌を配布する*）
3. 反対（今後も紙媒体を希望する）

*紙媒体の希望者からは、印刷・製本・郵送にかかる実費を別途徴収させていただきます。

アンケートの結果は

1. 賛成：72.7%
2. 条件付き賛成（冊子代を別途納入することは可）：25%
3. 反対：0.3%（2名：うち1名は購読会員）

となりました。

編集委員会、理事会において話し合った結果、紙媒体をなくすのではなく、一般会員の希望者には追加料金を徴収するのがよい、ということになりましたが、具体的なことについては理事会での継続審議となりました。

⑨ 異動・卒業など新年度からの登録内容の変更は“会員マイページ”へ

会員の皆様の中には、所属、住所、連絡先を新年度から変更される方や、ご卒業され新しい場所で働く方もおられると思います。

つきましては、今一度ご自身の登録内容を学会ホームページの会員サイト

<https://gkb.jp/login> でご確認いただき、必要に応じて変更をお願い致します。

何かご不明な点がある場合や退会のご連絡は、学会事務局 secretariat@jsbmg.jp までご連絡ください。

2. 議事録

① 2024年度 第一回日本基礎老化学会臨時理事会 議事録

日 時：2024年7月30日（火）10：00-11：00

開 催：WEB開催（ZOOM）

出席者：石神、内田、遠藤、柿澤、木村、清水、丸山、三浦

欠席者：樋上、町田

議 事

1. 「長寿科学賞」推薦候補者の募集について

日本基礎老化学会から「長寿科学賞」に推薦する候補者を募集するための、募集要項と申請書類について検討した。

募集要項について

- ✓ 応募要項ではなく「募集要項」とすべき
- ✓ 推薦者ではなく「推薦候補者」とすべき
- ✓ 応募資格には、基礎老化学会での活動実績（会員歴や大会での発表実績）を明示すべきでは
- ✓ 応募資格で、会員歴を問うべきでは
- ✓ 会員歴は事務局に問い合わせが来る可能性があるので、いらぬのではないか
- ✓ 「推薦調書」は、推薦者として決まってから別途提出してもらう方がよいのでは
- ✓ 選考基準に「卓越した研究業績を挙げていること」は厳しいのでは
- ✓ 100万円贈呈については、書かなくてよいのではないか
- ✓ 43歳未満は学会員としては少ないと思うので、できるだけ多くの人に応募してもらえるような要項にすることが必要ではないか
- ✓ 学会への貢献度は重要であると思う

研究内容について

- ✓ 「研究概要」として全体の概要を書いてもらう方がよいのでは
- ✓ 学会への貢献度についても記載してもらう（大会での発表、受賞歴、学会誌への投稿など）
- ✓ 業績リストには、基礎老化研究に関連するものに○をつけてもらう

「募集要項」と「研究概要」の修正版を作成し、後日メール理事会で評決する。

2. 老年学会理事長候補推薦委員について

日本基礎老化学会の理事長候補推薦委員は、石神理事長と遠藤理事が担当することとなった。

[目次に戻る](#)

3. 8月2日～23日の間にメール決議を行い
承認 10名
不承認 0名 により、本案は承認された。

② 2024年度 第二回日本基礎老化学会定例理事会 議事録

日時：2025年2月7日（金）10：00～12：00

開催：WEB開催（ZOOM）

出席者：石神、内田、遠藤、柿澤、木村、清水、樋上、丸山、三浦（以上理事）、大澤、嶋本（以上監事）、中川庶務理事補佐、安田選挙管理委員長、福井大会長、堀田大会長

欠席者：町田理事（委任状提出済）、千葉シンポジウム世話人

定足数の確認（三浦庶務理事）

参加9名、委任状提出1名で、本会は成立と認められた。

理事長挨拶（石神理事長）

2年間で最後の理事会になると思うので、最後にみなさんからご挨拶をいただきます。

議事：

1. 報告事項

1) 理事選挙・理事長選挙報告（安田選挙管理委員長）

- ・投票率が悪かった。年末押し迫っていたのが悪かったかもしれない。
- ・候補者への個別のメールの送信はBccで送ってもよいのではないだろうか。

2) 議事録報告（三浦庶務理事）

3) 会計中間報告（内田会計理事）

- ・学会予算、基金予算共に予定通り遂行されている。

4) 第47回（2024年）日本基礎老化学会大会報告（福井大会長）

- ・大会は多くの参加者を得て盛況であった。
- ・基礎老化研究に大会報告が掲載されていない。

5) 第45回（2024年）シンポジウム報告（石神理事長）

- ・早稲田大学との共催で開催された。
- ・シンポジウム120名、学術交流会50名の参加で盛況であった。

6) 第48回（2025年）日本基礎老化学会大会準備状況（堀田大会長）

- ・老年学会の合同シンポジウムに、基礎老化学会の先生が多く講演されるので、是非27日からご参加いただきたい。
- ・第48回大会については、チラシを基礎老化研究の次号に同封する予定
- ・現在、参加登録、演題登録を受け付けているので、是非、登録をお願いします。

[目次に戻る](#)

- ・学会奨励賞は、年齢を引き上げ45歳以下とした。学会奨励賞3名、学生優秀発表賞3名の予定
 - ・協賛金集めに苦戦しているので、お心当たりのある先生はよろしくお願ひします。趣意書を送ります。
 - 演題をなるべくたくさん出して下さい。
- 7) 第46回(2025年)シンポジウム準備状況(木村世話人)
- ・10月25日(土)に日程は確定した。
 - ・市民公開講座を併せて開催する。
 - ・テーマは「フレイル」とし、身体的フレイルだけではなく、精神的フレイルの講演も盛り込む予定。
- 8) 第49回(2026年)日本基礎老化学会大会準備状況(石神理事長)
- ・2026年6月20(土)から21(日)で日程調整中。
 - ・1日目夜に学会会場で情報交換会を実施する予定。
 - ・高齢者を対象とした市民公開講座、スポーツ施設見学ツアーを予定。
- 9) 編集委員会報告(木村委員長)
- ・49-1で基礎老化研究のトップランナーからのメッセージ、49-3では基礎老化研究の未来について、編集委員の座談会の特集号を企画している。
- 10) 広報・HP委員会報告(石神委員長)
- ・HPとXで記事を流しているが、アクセス数が伸び悩んでいる。
 - ・HPのトップページをみてもらっていない。
- 11) 学術交流委員会報告(柿澤委員長)
- ・Korea-Japan Joint Symposiumの日程が6月23(月)24(火)に決まった。
 - ・5名の演者を招待、新理事長と新学術交流委員長、奨励賞受賞者を含む若手が参加する案を検討中。演者は今年度中に決めたい。
 - ・日本組織培養学会とのジョイントシンポジウムは第48回大会(2025年)では開催しない。
- 12) あり方委員会報告(遠藤委員長)
- ・開催していないので報告事項はなし。
- 13) 老年学会理事会報告(石神担当理事)
- ・日本基礎老化学会からの長寿科学賞推薦者は、小林正樹先生(お茶の水女子大)に決定した。その他の6学会からも一人ずつの推薦者が決定し、7名が長寿科学賞受賞者として承認された。
 - ・理事の定年については、老年社会科学会から、もっと慎重に議論するべきとの意見が出て、あり方委員会に差し戻された。
 - ・名誉会員として甲斐先生、大内先生が推薦され、承認された。
 - ・IAGG Councill Memberとして5名(臨床系2名、社会科学系2名、基礎系1名)が、副理事長2名(Councill memberを出していない学会から)が決定した。
 - ・第35回日本老年学会は樂木先生が会長で、鹿児島市で開催される。

[目次に戻る](#)

- ・ 樂木宏実先生が次期理事長として承認された。
- 14) 老年学会将来計画委員会報告（内田担当理事）
 - ・ 理事会の内容と同じ。
- 15) 老年学会あり方委員会報告（遠藤担当理事）
 - ・ 定年制についてはかなり議論があった。
 - エイジズムについてはかなり議論があるので、定年制を決めるのは難しいのではないか。
- 16) 評議員・継続意向確認報告（三浦庶務理事）
 - ・ 評議員継続意向確認書をご提出いただき、5名の先生から評議員を今年度いっぱい退任したい旨申し出があった。

2. 審議事項

- 1) 第47回（2024年）日本基礎老化学会大会・会計監査（内田会計理事・大澤監事）

昨日、アルバイト代について、源泉徴収額に修正がある旨の連絡があった。
源泉徴収額を変更した後、

承認	10名（うち委任状1名）
不承認	0名

→ 承認された。
- 2) 第45回（2024年）シンポジウム・会計監査（内田会計理事・大澤監事）

→下川先生以外のシンポジストの旅費はどうしたのか。
→おそらく早稲田大学から支払ったのではないかと思う。

承認	10名（うち委任状1名）
不承認	0名

→ 承認された。
- 3) 基礎老化研究印刷版廃止に関するアンケート結果について（木村編集理事）
 - ・ 紙媒体をなくすのではなく、一般会員の希望者には追加料金を取るようにする。
 - ・ 年1回の年会費に追加して徴収する。
 - ・ 編集委員の負担を少なくするため、校正を外注したい。AI活用も視野に入れる。

→コロニー印刷は、印刷部数が少ない方が金額は高くなる。神谷印刷はPDF版は20万円くらいで校正もしてもらえるが、印刷するとなると非常に割高。
→ 継続審議とし、次期執行部に議論してもらう。
- 4) 第50回（2027年）日本基礎老化学会大会長について（三浦庶務理事）
 - ・ 小野悠介先生（熊本大学）が推薦された。

承認	10名（うち委任状1名）
不承認	0名

→ 承認された。
- 5) 第47回（2026年）シンポジウム世話人について（三浦庶務理事）

・中川 崇先生（富山大学）が推薦された。

承認 10名（うち委任状1名）

不承認 0名

→ 承認された。

6) 名誉会員の推薦について（三浦庶務理事）

・丸山光生先生（国立長寿医療研究センター）が推薦された。

承認 9名（うち委任状1名）（丸山先生を除く）

不承認 0名

→ 承認された。

7) 評議員の推薦について（三浦庶務理事）

・7名の推薦があった。

井上 聡 先生（東京都健康長寿医療センター研究所）

小野悠介 先生（東京都健康長寿医療センター研究所）

川岸裕幸 先生（国立医薬品食品衛生研究所）

澁谷修一 先生（山陽小野田市立山口東京理科大学）

多田敬典 先生（至学館大学）

中川 崇 先生（富山大学）

細山 徹 先生（国立長寿医療研究センター）

承認 10名（うち委任状1名）

不承認 0名

→ 承認された。

8) 会計監査内規について（嶋本監事）

・大会やシンポジウムの会計報告を元に、監査の手順書を作成した。

→大会やシンポジウムの会計をフォーラムに委託するとどのくらいかかるか。

→40～50万円くらい別途かかる見込み

→会計監査としては、税理士が目を通した会計報告を監査するようにしたい。

→大会やシンポジウムの運営側にも、税金計算のポイント等を予め送るとよいのではないか。

→ 内規にするかどうかも含め、継続審議とする。

3. その他

1) 山田科学振興財団応募状況（三浦庶務理事）

南 聡先生（大阪大学）、堀川 誠先生（奈良県立医大）を推薦する。

2) 会員動向（三浦庶務理事）

3. 事務局からのお知らせ

会員事務、学会事務等についてのお問い合わせは以下の本会事務局へお願いします。本学会をより良いものにするためには会員の協力が不可欠です。学会への要望等についても遠慮なく事務局へお寄せください。お待ちしております。

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル

(株)毎日学術フォーラム（委託先）内

FAX: 03-6267-4555

e-mail: secretariat@jsbmg.jp

【日本基礎老化学会入会のご案内】

入会希望の方は、日本基礎老化学会ホームページ <https://www.jsbmg.jp/contact/> の入会申込フォームに記入し、事務局に送信してください。正会員は入会申込と会費の入金確認、学生会員は入会申込と学生であることを証明する書類の確認をもって、申込受付完了となります。

学生であることを証明する書類は、学生証などの PDF ファイルでお願いします。

尚、初回の会費納入はクレジットカードをご利用できません。銀行振込のみになります。下記振込口座に、年会費をお振り込み下さい。

【会費納入のお願い】

会費は正会員が 7,000 円（理事 15,000 円、評議員 10,000 円）、学生会員は無料（2021 年 4 月 1 日から）です。未納分は、会員マイページから確認できます。

※学生会員は毎年年度初めに、学生であることを証明する書類の提示が必要です。

【オンライン決済の場合】

会員マイページにログインし、クレジットカード決済、コンビニ決済、銀行振込決済の中から決済方法をお選び下さい。

領収書のダウンロードもできます。

【学会の口座に直接振込む場合】

学会口座に直接振込む場合は、振込者の名前が事務局に通知されません。お手数ですが、振込んだ際には事務局にお知らせください（secretariat@jsbmg.jp）。また、領収書が必要な場合も、その旨事務局にご連絡ください。

三菱 UFJ 銀行（銀行コード 0005）

大山支店（支店番号 187）

[目次に戻る](#)

普通 0559515

名前（口座使用者）：日本基礎老化学会

【基礎老化研究誌購読について】

学会年会費には、簡易印刷版（白黒版）基礎老化研究誌購読料が含まれています。フルカラー版は学会 HP からダウンロードしてご利用ください。
ログイン PW は会員マイページ（学会バンク）の PW です。

【日本基礎老化学会の賛助会員のご案内】

日本基礎老化学会では、科学研究を通じて高齢化社会に寄与することをめざしています。学会の活性化や会誌の充実に努め、さらに、その基盤の強化をはかるべく、個人や企業を対象にして広く賛助会員を募っています。会費は一口、年 5 万円です。賛助会員には以下の特典があります。

- (1) 学会誌「基礎老化研究」冊子体を毎号お送りいたします。
- (2) 「基礎老化研究」に広告（A4 半ページ）を年 3 回無料で掲載します。

賛助会員の詳細は学会事務局にお問い合わせください。

【基礎老化研究誌への広告掲載について】

基礎老化研究誌では広告を募集しています。

1 ページ 5 万円で年 3 回掲載します。ご希望の方は学会事務局にメールにてお問い合わせください。

【入退会、休会、会費等】（secretariat@jsbmg.jp）

入退会、休会、会費、その他不明の事がありましたら、遠慮なく事務局へお問い合わせください。また、大学の研究室や職場を離れた会員については、指導教官や上司から事務局へ連絡をいただくと大変助かります。

【退会について】

退会の処理を適切に行うために、下記の事項をお守りください。

- ✓ 退会の際は、日本基礎老化学会の会員マイページにログインいただき、【事務局へのお問合せ】の内容欄に、
 - 1.氏名、2.ご所属、3.連絡先（Eメール）、4.退会理由、をご記入の上、事務局にお送りください。

[目次に戻る](#)

- ✓ 日本基礎老化学会の会計年度は4月1日～3月31日となっています。従いまして、退会時が年度の途中の場合でも、その年度の年会費はお支払いいただくこととなりますのでご了承ください。

【所属・連絡先等、登録内容の変更について】

所属、e-mail アドレス、住所など、登録内容を変更する場合は、会員マイページにログインし、ご自身で変更してください。よろしくお願い申し上げます。

4. 日本基礎老化学会関連行事 今後の開催予定

大会

2025年

第48回日本基礎老化学会大会（第34回日本老年学会総会7学会合同会）

大会長：堀田 晴美（東京都健康長寿医療センター研究所）

日時：2025年6月27日（金）から29日（日）

場所：幕張メッセ・東京ベイ幕張ホール（千葉市）

2026年

第49回日本基礎老化学会大会

大会長：町田 修一（順天堂大学）

日時：2026年6月20日（土）から21日（日）

場所：順天堂大学さくらキャンパス（千葉県印西市）

シンポジウム

2025年

第46回日本基礎老化学会シンポジウム

世話人：木村 展之（岡山理科大学）

日時：2025年10月25日（土）

場所：岡山理科大学・今治キャンパス大講義棟（愛媛県今治市）

関連国際学会

2026年

The 23rd World Congress of Gerontology and Geriatrics (IAGG 2026)

Date: July 5-8, 2026

Amsterdam, Netherland

<https://www.iagg2026.org>

5. 会員動向（2025年3月12日現在）

正会員：298名

学生会員：60名

名誉会員：18名

合計：376名

賛助会員：7団体

購読会員：5団体

6. 賛助会員一覧

下記の諸団体が賛助会員として本学会を支えています。協力を感謝いたします。

賛助会員は随時募集しております。事務局にお問い合わせください。

あなたの会社も賛助会員として老化研究を支えてみませんか？

入会をお待ちしています！

ココロ力株式会社

小林製薬株式会社

大正製薬株式会社

東洋レヂン株式会社

日本水産株式会社

(株) ファンケル総合研究所

マルサンアイ株式会社



日本基礎老化学会サーキュラー 第 124 号

2025 年 3 月 14 日発行

日本基礎老化学会

企画・発行 日本基礎老化学会事務局

(編集 三浦ゆり)

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル

(株)毎日学術フォーラム (委託先) 内

Web site: <https://www.jsbmg.jp/>

E-mail: secretariat@jsbmg.jp

[目次に戻る](#)